

## 『滋賀県民の気候変動に関する意識調査』

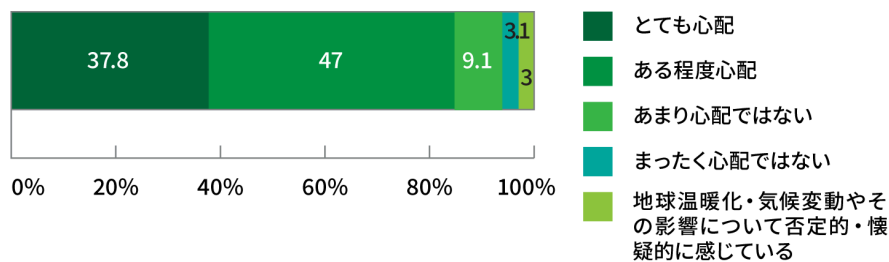
### <調査方法>

対象：滋賀県在住の1000人を対象に18～79歳男女で概ね10代刻み  
 地域：滋賀県  
 方法：グリーンピースが楽天インサイト株式会社に委託してオンラインで実施  
 時期：2024年7月4日（木）～2024年7月9日（水）  
 有効回答数：1000人

### <調査結果>

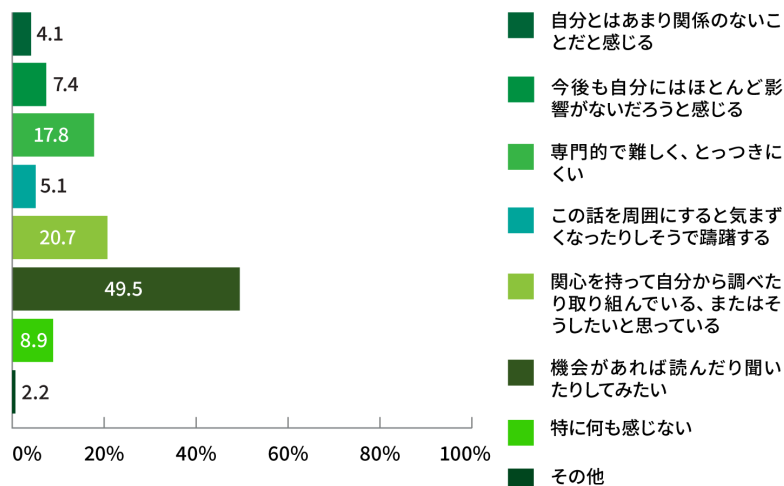
1. 滋賀県民に地球温暖化・気候変動の影響についてどう感じているか聞いたところ、「とても心配」「ある程度心配」を合わせて84.8%が心配していることが明らかになった。

図1. 2023年は観測史上で世界的に最も暑い1年となり、熱波や洪水、干ばつなどの被害が各地で相次いでいます。あなたは、地球温暖化・気候変動の影響についてどう感じていますか？



2. 地球温暖化・気候変動やその影響について当てはまる選択肢をすべて聞いたところ（複数回答可）、「機会があれば読んだり聞いたりしてみたい」と回答した人が最多の49.5%、次いで「関心を持って自分から調べたり取り組んでいる、またはそうしたいと思っている」が20.7%と、滋賀県民が高い関心を持っていることがわかった。

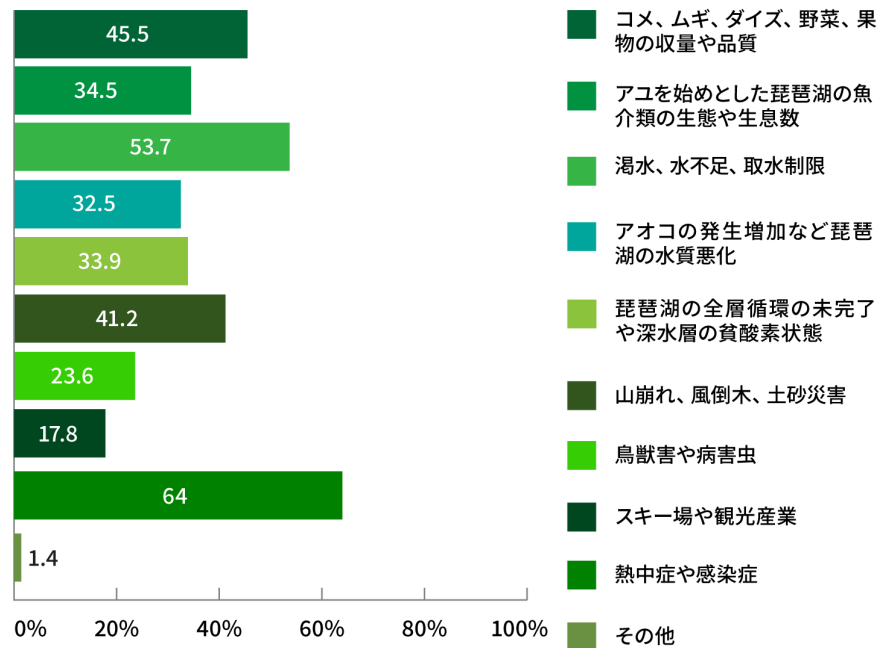
図2. 地球温暖化・気候変動やその影響について、下記のうちから、あなたについて当てはまるものをすべて選んでください。（いくつでも）



3. 同県内で確認されている、あるいは今後現れることが予想される温暖化・気候変動の影響について感じているものを聞いたところ（複数回答可）、「熱中症・感染症」と答えた人が64%と最多だった。「湯水、水不足、取水制限」が53.7%、「コメ、ムギ、ダイズ、野菜、果物の収量や品質」が45.5%と続き、生活に密着した場面で影響を感じていることが明らかになった。

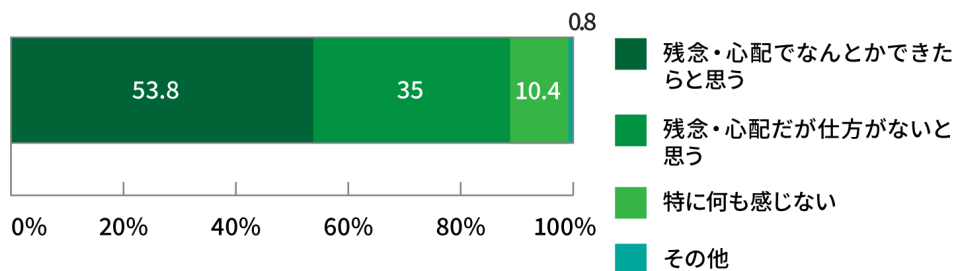
図3. 県内では、下記のようなことに気候変動・温暖化の影響が現れたり、今後現れてくることが予想されています\*。あなたは下記のうち特に何に、気候変動の影響を感じていますか？いくつか選んでください。（いくつでも）

\*「滋賀県の気候変動等の影響等とりまとめ」滋賀県気候変動適応センター、令和3年



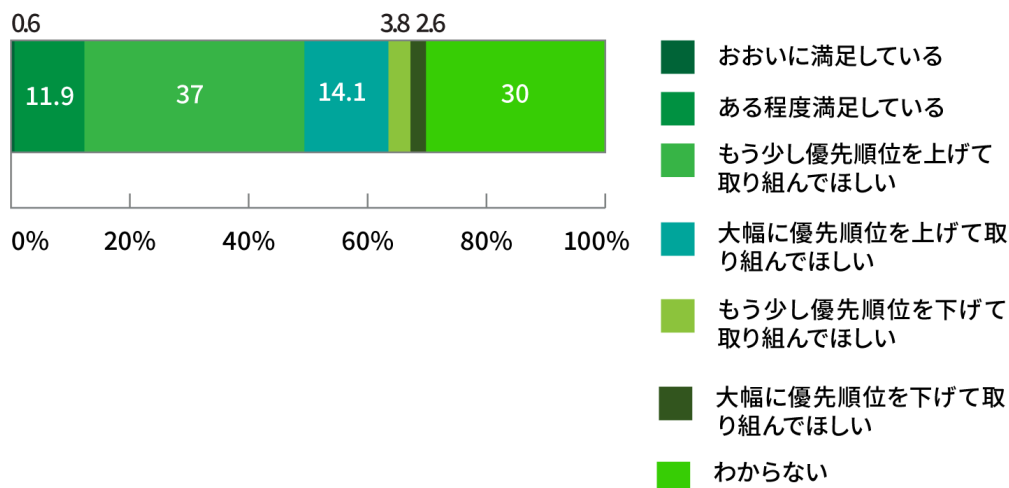
4. 前問で挙げた滋賀県における気候変動の影響についてどのように感じているか聞いたところ、「残念・心配でなんとかできたらと思う」が最多の53.8%で、多くの人が懸念を感じ、解決に向けて行動する意欲があることがわかる結果となった。

図4. あなたは前問で回答した滋賀県における気候変動・温暖化の影響について、どう感じますか？



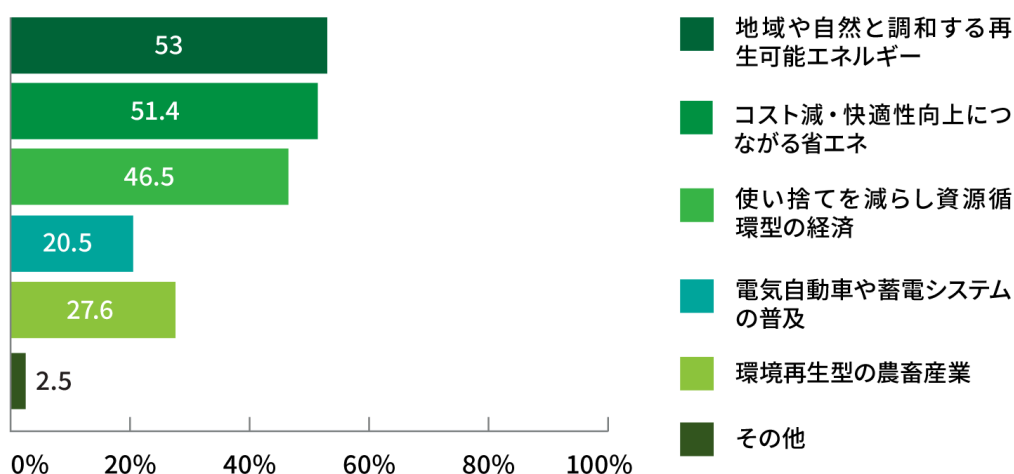
5. 滋賀県における気候変動・温暖化を抑えるための政策実施の状況について満足度を聞いたところ、「優先度を上げて取り組んで欲しい（もう少し・大幅に）」が51.1%と、多くの人々が現状に満足していない結果となった。一方、「わからない」と回答した人も30%いた。

図5. 滋賀県における気候変動・温暖化を抑えるための政策実施の状況について、あなたはどの程度満足していますか。



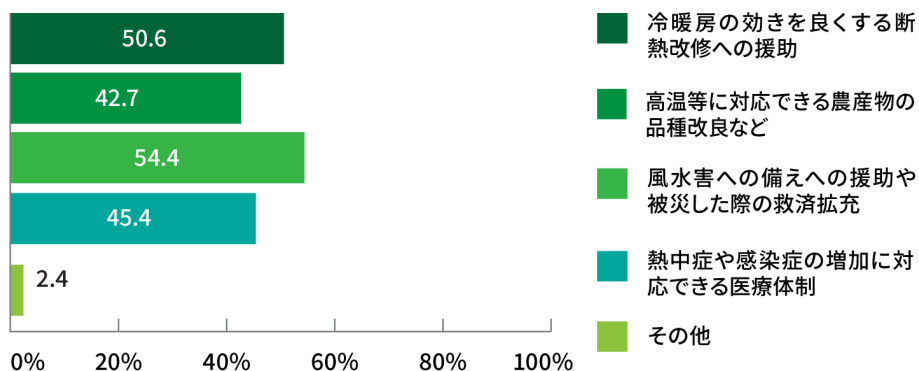
6. 進めてほしい気候変動・温暖化政策に関して、緩和政策（気候変動の原因となる温室効果ガスの排出量を減らす政策）について聞いたところ（複数回答可）、「地域や自然と調和する再生可能エネルギー」が最多で53%、次いで「コスト減・快適性向上につながる省エネ」（51.4%）「使い捨てを減らし資源循環型の経済」（46.5%）が多い結果となった。

図6. どんな気候変動・温暖化政策を進めてほしいですか？緩和政策(気候変動の原因となる温室効果ガスの排出量を減らす政策)について、いくつでも選んでください。(いくつでも)



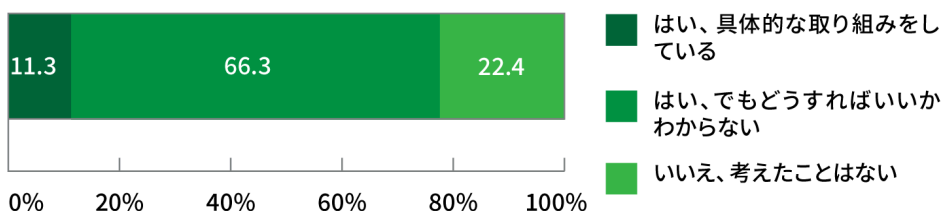
7. 進めてほしい気候変動・温暖化政策に関して、適応政策（すでに生じている、あるいは将来予測される気候変動の影響による被害を避けたり減らしたりする政策）について聞いたところ（複数回答可）、「風水害への備えへの援助や被災した際の救済拡充」が最多で54.4%、次いで「冷暖房の効きを良くする断熱改修への援助」（50.6%）とそれぞれ5割を超えた。

図7. どんな気候変動・温暖化政策を進めてほしいですか？適応政策（すでに生じている、あるいは将来予測される気候変動の影響による被害を避けたり減らしたりする政策）について、いくつでも選んでください。（いくつでも）



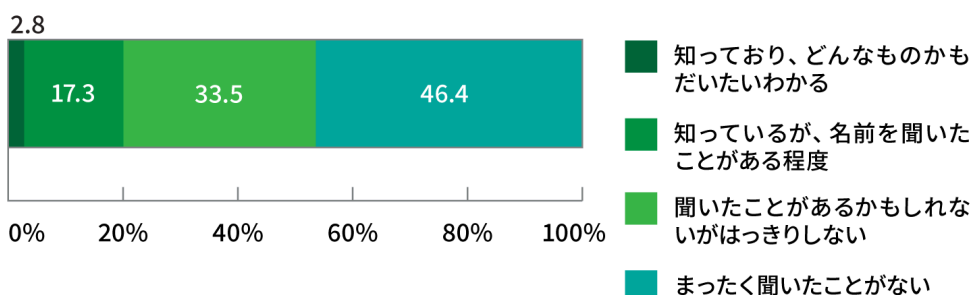
8. 温暖化について自分にできることは何か考えたことがあるか聞いたところ、「考えたことがあり、具体的な取り組みをしている」と回答した人が11.3%だった。一方、「考えたことはあるが、どうすればいいかわからない」と回答した人の割合は66.3%と最も多く、全体的に高い意識があるものの、実践できる具体的な対策について情報が浸透していないことが分かった。

図8. 温暖化に対して自分にできることは何か考えたことはありますか。



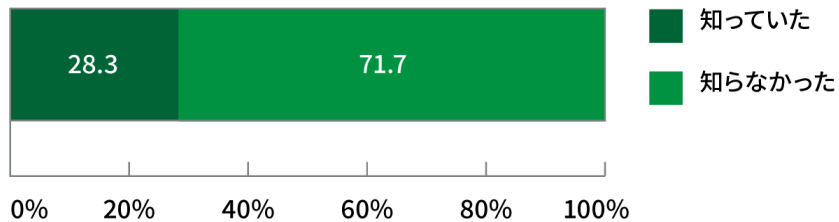
9. 国連によって世界農業遺産に認定された「琵琶湖システム」について聞いたところ、「知っており、どんなものかも大体わかる」と答えた人の割合は2.8%だった一方、「聞いたことがあるかもしれないがはっきりしない」が33.5%、「まったく聞いたことがない」は46.4%にもものぼり、「琵琶湖システム」に関する認知の低さが明らかになった。

図9. 国連によって世界農業遺産にも認定された「琵琶湖システム」について、あなたに当てはまるものを一つ選んでください。



10. 琵琶湖の「えり漁」は1000年以上前から続いている伝統漁法だと知っているか聞いたところ、知っていた人は28.3%にとどまり、多くの人々が「えり漁」についての知識が不足していることが分かった。

図10. 琵琶湖の「えり漁」は1,000年以上前から続いている伝統漁法だと知っていましたか。



<本件に関するお問い合わせ>

国際環境NGOグリーンピース・ジャパン

広報担当 平井ナタリア恵美 TEL: 080-6558-4446 Email: nataliaemi.hirai@greenpeace.org